

分野	前回調査(R2.9月実施)		今回調査(R5.7月実施予定)	
基本情報	1	年齢をお聞かせください。	1	
	2	主に従事している施設をお聞かせください。	2	
	3	担当する主要な診療科目名をお聞かせください。	3	
在宅医療	4	現在、新潟市は在宅医療支援提供体制の強化を推進しており、今後も取組みを進めていきたいと考えていますが、どのように思われますか。	4	
	5	現在、患者の自宅での在宅医療を行っていますか。	5	
	6	「いいえ(今後も行う予定はない)」と回答された理由についてお聞かせください。(複数回答可)	6	
	7	在宅医療を実施するうえで、課題があればお教えてください。(複数回答可)	7	
	8	往診、訪問診療の実施状況についてお聞かせください。	8	
	9	患者が人生の最終段階における医療・ケアについて家族や医療介護関係者等とあらかじめ話し合うことを進めることについて、どのように思われますか。	9	
	10	患者が医療・ケアの選択について意思決定ができなくなった時に備えて、どのような医療・ケアを受けたいか、あるいは受けたくないかなどを記載した書面をあらかじめ作成しておくことについて、どのように思われますか。	10	
	11	今後、新潟市の在宅医療推進について、何が必要だと思いますか。(3つまで)	11	
救急医療	12	現在の新潟市の救急搬送・受入れについて、どのように感じていますか。	12	
	13	新潟市における休日夜間の救急医療体制の今後について、どのように感じていますか。	13	
	14	問13で「やや不安を感じる」「不安を感じる」と回答された先生にお聞きします。どのような点で不安を感じられましたか。(3つまで)	14	
	15	市民への適正受診の普及啓発には、何が必要だと思いますか。(3つまで)	15	同左 1.新聞・テレビなどの広報媒体の積極的な活用 2.適正受診に関するシンポジウム・公開講座の開催 3.NPOなど市民活動団体の自発的取組みの育成・支援 4.地域包括支援センターや介護・福祉関係者との協力 5.条例制定などによる適正受診の啓発 6.救急医療電話相談窓口(#7119・#8000)の周知 7.かかりつけ医の推進 8.医師会や医療機関と連携した院内掲示等を通じた啓発 9.LINE・InstagramなどのSNSの活用した適正受診の啓発 10.その他
精神疾患	16	日常診療のなかで、精神疾患が疑われる患者への対応について、難しさや不安を感じられたことはありますか。	16	
	17	「はい」と回答された先生にお聞きします。どのような点で難しさや不安を感じられましたか。(複数回答可)	17	
	18	精神疾患が疑われる患者を精神科へ紹介する場合、どのような連携が重要だと思いますか。(複数回答可)	18	
	19	精神科救急情報センター(平日夜間と休日に、関係機関からの要請を受け、救急患者のトリアージ、入院先の調整、外来受診・入院可能な精神科医療機関の紹介を行うもの)を知っていますか。	19	精神科救急情報センター(平日の日中における消防機関や医療機関との連絡窓口、夜間・休日における精神科救急輪番病院を案内する電話サービス)を知っていますか。
	20	精神医療相談窓口(緊急に精神科医療や相談を必要とする方や、そのご家族が、24時間365日相談できる電話相談窓口)を知っていますか。	20	
	21	認知症診療を行っている先生にお聞きします。認知症診療をしていくうえで必要と感じていることの中で、優先度が高いものをお教えてください。(3つまで)	21	
	22	認知症診療を行っている先生にお聞きします。今後、新潟市が進めていく認知症施策として、何を重視していくべきだと思いますか。(3つまで)	22	
災害医療	23	新潟市における災害時の医療救護体制について、どのように感じていますか。	23	
	24	「やや難しさや不安を感じる」「難しさや不安を感じる」と回答された理由についてお聞かせください。(3つまで)	24	
	25	今後、災害時の医療救護体制を整備していくために、何が必要だと思いますか。(複数回答可)	25	
その他	26	新潟市への医療施策へのご意見などをご自由にお書きください。	26	